



学校だより

のびるかみっ子 ~ “元気” があれば何でもできる!! ~

上小岩



令和7年 9月 1日

NO.6

江戸川区立上小岩小学校

校長 宮本 知司



「素直な子は伸びるね」 ~学力も着実に伸びています~

校長 宮本 知司

いつもより少し長い44日間の夏休みが終わり、これから初冬までの長い2学期が始まります。すくすくに通う子供たちは、朝の自習時間から遊び、お弁当と「規則正しく、いいリズムで生活しているな」と日々見ていましたが、それぞれのご家庭ではいかがでしたか。神社境内や江戸川河川敷で行われたラジオ体操、盆踊りや縁日、緑陰子ども会…と、この夏もそれぞれの自治会や町会では子供たちの楽しい行事が目白押しでした。地域と PTA・保護者の皆様には、かみっ子の健康と安全を見守り続けてくださいましたことに、深く感謝申し上げます。また、「これまで経験したことのない危険な暑さです！」という報道が連日繰り返され、いよいよ日本の夏もこれまで通りにはいかないという思いを皆が共有した夏でもありました。残暑の続く新学期も“子供たちの健康”を第一に、気を引き締めて教育活動を進めてまいります。

「校長先生、上小岩の卒業生が高校野球で頑張っていますよ」こう教えていただいたのは、東京都予選の進む7月の後半でした。本校在学中にはレッドシャークスの一員として野球に打ち込み、進学した上一色中では全国大会でも活躍し、今夏は夢の甲子園出場に向かうチームの先頭打者として大活躍する卒業生のことでした。残念ながら決勝進出をかけた試合でチームは惜敗しましたが、このような「先輩の頑張り」はかみっ子にとっても大きな励みとなることでした。このことを私に教えてくださったのは、何十年もの間、野球を通じて本校の子供たちのことを見てくださってきた地域の方ですが、続けて「あの子は小さい時からとっても素直な子だった。素直な子は伸びるね。」と話されていました。武道や芸事に『守破離』という言葉がありますが、まずは監督やコーチなど指導者の言うことを素直に聞いてやってみることが大事で、そこから自分で考えて力を付けていくのが上達の道だということです。卒業生の頑張りはもちろん嬉しいことでしたが、本校から巣立っていった子が「そのまま素直に真っ直ぐ伸びていった」ということは、それ以上に嬉しいことでした。

毎年4月に全国の6年生が挑戦する「全国学力・学習状況調査」というものがあります。「小学校の5年間で学習したことがどの程度身についているのか」「学習に向かう姿勢はどうか」が客観的に分かる調査ですが、今年はその結果で嬉しいことがありました。ここ数年で少しずつ上がってきた本校の平均正答率が、今年は全国上位の東京都の平均値に並んだのです。江戸川区の大多数の学校と同様に「かみっ子はいいい子たちなんだけど、まあ勉強はね…」と言葉を濁してきたのが「いやあ、勉強だってやる子たちなんですよ」と、堂々と胸を張れるようになったのです。（さらに「」の期待を込め、区教育委員会より『国語強化校』の指定も受けました。）

重ねて、その数字以上に嬉しかったのが「質問紙調査」の結果でした。「学校に行くのは楽しいと思いますか」「友達関係に満足していますか」「先生はあなたのよいところを認めてくれますか」などの問いに前向きな回答が9割を超え、それは都や全国の値より5～10%も高いものでした。子供たちの抱く♪楽しい学校上小岩♪の素直な気持ちは「やる気と自主性」につながり、それが自ずと学力にも結び付いたのではないかと嬉しく分析をしました。

一年間の中で最も長く、子供たちが最も伸びる2学期です。少し広く整地される“新校庭”も活用しながら、勉強に運動にと全力で向かう子供たちをしっかりと支え応援していきたいと思います。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

